

令和5年度第一回十勝保健医療福祉圏域連携推進会議議事録

1 日時 令和5年(2023年)10月6日(金) 18:30~20:00

2 場所

(1)北海道十勝合同庁舎 帯広保健所会議室 大野会長、事務局

(2)Web参加(zoom) 本会議委員(会長除く)

3 出席者 別添名簿のとおり

4 議題

(1)次期「北海道医療計画」について

次期「北海道医療計画」について、鎌田企画主幹及び坪坂主任より説明。

(2)次期「北海道感染症予防計画」について

次期「北海道感染症予防計画」について吉田健康推進課長より説明。

(3)意見・質疑等

【A委員】

○結核の医療体制について

私の方から十勝の圏域における結核の医療体制ということで、ご意見を述べさせていただきます。現在日本の結核患者が減少しまして、低まん延国になりましたが、今も一日平均28人ぐらいは結核と診断されているようです。帯広保健所に確認したところによりますと、十勝圏域で、令和4年に肺結核と診断された患者さんは速報値で11名、その半数が感染性の結核だということです。結核患者の治療は早期発見早期治療が重要で、このことは患者の重症化を防ぐためだけでなく、家族や職場などへの感染拡大を防ぐためにも重要であります。そのためにも、身近な地域で結核医療が受けられるように、医療体制を整備することが求められますが、道内三次医療圏、六圏域の状況を見ますと、オホーツク圏域と、我々の十勝圏域のみ、結核病床が確保されていないという状況です。ただオホーツク圏域は一定数の結核モデル病床があり、患者が発生した際に圏域内で対応可能な体制が確保されており、当圏域のみが、十勝圏域のみが結核患者入院できる病床が確保されていない状況にあります。国立病院では、担当できる先生がいないということで、令和2年ぐらいでしたかね、それからは確保されていないと、結核病床は。そのため結核と診断された感染性のある患者さんは、結核病床を有する札幌とか旭川とか遠くのところの医療機関に搬送されるという状況です。結核患者の大半を占めるのは高齢者でありまして、長時間の移動は体への負担も大きく、また、家族にとっても、遠方への入院は、手続きや面会などに関わる負担が大きくなります。北海道医療計画においても、三次医療圏ごとに結核患者が入院できる病床を確保することとされておりまして、十勝圏域における結核患者が入院できる病床の確保は喫緊の課題となっています。圏域内で病床の確保ができれば、地域の医師から紹介がしやすくなることに加え、退院後の過料も容易になることから、患者の家族や重度の合併症を持った患者さんなどにとっては、その恩恵が大きなものとなります。新しい医療計画策定にあたっては、十勝圏域に結核指定医療機関を確保することについて、特段のご考慮をいただけますようお願いいたします。

【B委員】

○ドクターヘリについて

2点ばかりあるのですけれども、一つは救急医療に関することですが、北海道は、広大な面積を有しておりますので、救急患者の搬送において、長時間かかるケースがあると思います。軽症な方であればいいんですけども、かなり重症な方が、長時間の搬送を要するケースがあります。十勝でも、かなり広域の地域ですので、重症患者が1時間以上救急搬送されている方が、結構散見されます。こういった状況に対応するために北海道ではドクターヘリが、4機配備されているという状況かと思っておりますけれども、十勝には配備されていない状況となっております。現実的には今、道東と道北のドクターヘリが、十勝医療圏をカバーしていただいておりますけれども、ただ、運行距離がかなり長距離になりますので、十勝にドクターヘリが来るまで40分以上の時間を要することが問題となっております。もう一つはですね、天候上の問題で、実際に要請をかけても、飛んでこられないような事態が結構ありますので、実際に十勝では、ドクターヘリをうまく利用できていない状況が続いているというふうに私、認識しております。そこで北海道としてはですね、今後、十勝医療圏にもですね、ドクターヘリを配備するというような、予定、考えとかあるかどうかちょっと確認したくて、発言させていただきました。

○災害医療について

もう1点は災害医療のことなんですけれども、大規模な災害が発生した場合には、急性期から慢性期にかけて、地域の医療機関、医師会、或いは行政機関が協力して、連携してですね、対応することが必要かと思っております。そのためには、平時から、行政等、医療機関、医師会等の連携ができるような体制、これを作っておく必要があるかと考えておりますけれども、その中心となるのはやはり、保健所ではないかと考えておりますけれども、今後はそのような、連携体制を構築していくような予定とかお考えがあるんでしょうか。その2点、ちょっとご意見いただきたいなと思います。

○ドクターヘリについての回答(鎌田企画主幹)

まず1点目のドクターヘリについてであります。先生おっしゃった通り、十勝圏につきましては、道東ドクターヘリと道北ドクターヘリで賄ってもらっております。先日、道東道北ドクターヘリの十勝管内への出動件数を別案件で調べたところですね、件数自体は少ないんですけども、やはり全く必要でないことはないと思いますので、今後はドクターヘリにつきましても地域医療構想調整会議とかで、また議論の一つとして議題に載せてもいいのではないかと考えております。現状につきましては、十勝はないんですけども、今後につきましては、議論していきたいかなと考えております。

○災害医療についての回答(森技監)

災害医療の行政と地域の医療等医療機関の連携についてはもう本当にその通りだと思っております。これについては、災害医療の行政としての役割は大きいと思いますので皆さんと相談をしながら、これについても議論していきたいなと考えております。